

# 令和4年度 第3回 辻堂まちづくり会議 次第

日時 2022年6月23日(木) 13:30~15:30

会場 辻堂市民センター ホール

## 第一部

- ・藤沢厚木線(辻堂工区)の整備について(市道路河川総務課)

## 第二部

### 1 前回会議議事録の確認について

### 2 議題

#### (1) 部会長の決定

#### (2) 部会報告、及びディスカッション

くらし安心・安全部会(6/7)、辻堂交流部会(6/9)、福祉部会(6/16)

#### (3) 広報委員会からの報告

#### (4) みんなで美化キャンペーン

ア 湘南ニコニコロード 7月12日(火) 13時30分~

イ ポケットパーク 7月16日(土) 9時00分~

#### (5) 高砂小学校 ムーンショット事業

日時 7月14日(木) 10時45分~11時30分(3限)

対象 6年生2クラス、5年生3クラス、4年生3クラス 計8クラス

### 3 その他

(1) 令和2, 3年度辻堂まちづくり会議実績報告書の配付について

(2) メールアドレスの登録

### 4 今後の予定

- 駅前掲示板作業 7月1日(金) 暮らし安心・安全部会2人
- 辻堂朝市 7月14, 28日(木) 暮らし安心・安全部会3人
- みんなで美化キャンペーン
  - 湘南ニコニコロード 7月12日(火) 13時30分～
  - ポケットパーク 7月16日(土) 9時00分～
- 高砂小学校ムーンショット事業 7月14日(木) 10時45分～
- 辻堂交流部会 7月 7日(木) 10時00分～
- 広報委員会 7月14日(木) 9時00分～
- 暮らし安心・安全部会 7月14日(木) 13時30分～
- 福祉部会 7月14日(木) 13時30分～
- 第4回辻堂まちづくり会議 7月21日(木) 13時30分～

以 上

令和4年度 辻堂まちづくり会議 委員名簿

任期：2022年4月1日～2024年3月31日

No.	氏名	役職	部会	委員会	団体名又は公募
1	赤塚 商蔵		くらし安心・安全		辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会
2	山田 泰司	部会長	くらし安心・安全		辻堂地区社会福祉協議会
3	齋間 道雄		くらし安心・安全		辻堂地区青少年育成協力会
4	和田 今日子		辻堂交流		辻堂地区交通安全対策協議会
5	吉田 紀行		辻堂交流		辻堂地区生活環境協議会
6	橋本 美知子		くらし安心・安全		辻堂地区防犯協会
7	小川 雄二郎	副会長	くらし安心・安全	広報	辻堂地区防災協議会
8	近藤 真由美		福祉		辻堂東地区民生委員児童委員協議会
9	秋葉 誠		くらし安心・安全		辻堂西地区民生委員児童委員協議会
10	伊藤 和子	副会長	福祉	広報	辻堂公民館評議員会
11	鷹野 三枝子		くらし安心・安全		高浜地域子ども支援会議
12	大橋 洲二		福祉		浜見地区社会体育振興協議会
13	中野 由紀子		辻堂交流		辻堂商店会連合会
14	片桐 賢		辻堂交流		辻堂地区老人クラブ連合会
15	松尾 良子		福祉		ネットワーク湘南堂夢
16	富田 直樹		福祉		辻堂東地区いきいきサポートセンター
17	高野 拓弥		福祉		辻堂西地区いきいきサポートセンター
18	北野 範之		福祉		辻堂地区ボランティアセンター
19	山下 美波		福祉		西南部障がい者地域相談支援センター
20	吉田 秀樹		辻堂交流		公募
21	尾崎 文彦	会長	—	広報	公募
22	秋山 正行	副会長/部会長	辻堂交流	広報	公募
23	久保田 恵	委員長	辻堂交流	広報	公募
24	池本 茂男	部会長	福祉		公募
25	堀川 輝夫		辻堂交流		公募
26	千葉 郁世		辻堂交流		公募
27	鶴田 智博		辻堂交流		公募
28	芳山 久美子		辻堂交流		公募

【事務局】

No.	氏名	役職	担当
1	加藤 財英	センター長	統括、全体会議◎、福祉
2	中丸 光江	主幹	全体会議◎、くらし安心・安全、辻堂交流、広報
3	山出 峰士	上級主査	全体会議◎、広報◎
4	若山 瞭太	主任	全体会議、辻堂交流、広報
5	新倉 孝幸	上級主査	くらし安心・安全◎
6	片山 雄貴	主任	辻堂交流◎
7	守谷 千楓音	担当	福祉◎
8	宮木 千春	担当	広報
9	二宮 寿美香	担当	くらし安心・安全

※◎ 主担当

日時	2022年5月26日(木) 13:30 ~ 15:10		
場所	辻堂市民センター ホール		
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 尾崎会長 <input checked="" type="checkbox"/> 秋山副会長 <input type="checkbox"/> 齋間委員 <input checked="" type="checkbox"/> 橋本委員 <input checked="" type="checkbox"/> 鷹野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 片桐委員 <input checked="" type="checkbox"/> 高野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 吉田(秀)委員 <input checked="" type="checkbox"/> 堀川委員 <input checked="" type="checkbox"/> 芳山委員	<input checked="" type="checkbox"/> 小川副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 赤塚委員 <input checked="" type="checkbox"/> 和田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 近藤委員 <input checked="" type="checkbox"/> 大橋委員 <input checked="" type="checkbox"/> 松尾委員 <input checked="" type="checkbox"/> 北野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 久保田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 千葉委員	<input checked="" type="checkbox"/> 伊藤副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 山田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 吉田(紀)委員 <input checked="" type="checkbox"/> 秋葉委員 <input type="checkbox"/> 中野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 富田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 山下委員 <input checked="" type="checkbox"/> 池本委員 <input checked="" type="checkbox"/> 鶴田委員
事務局	<input checked="" type="checkbox"/> 加藤センター長 <input checked="" type="checkbox"/> 新倉	<input checked="" type="checkbox"/> 中丸主幹 <input checked="" type="checkbox"/> 片山	<input checked="" type="checkbox"/> 山出 <input checked="" type="checkbox"/> 守谷 <input checked="" type="checkbox"/> 若山
議題等	第一部 1 歩行者横断点滅機「ぴかっとわたるくん」の設置について 第二部 1 前回会議議事録の確認について 2 議題 (1) 所属部会等について (2) 部会報告からのディスカッション (3) 広報委員会からの報告 (4) 津波避難体験について 3 その他 (1) 駅前掲示板の作業分担について (2) 辻堂朝市の作業分担について (3) メールアドレス登録のお願い (4) その他 4 今後の予定		
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者横断点滅機を設置します!</li> <li>・歩行者横断点滅機「ぴかっとわたるくん」パンフレット</li> <li>・令和4年度辻堂まちづくり会議委員名簿</li> <li>・第1回辻堂まちづくり会議議事録</li> <li>・第1回くらし安心・安全部会議事録</li> <li>・第1回辻堂交流部会議事録</li> <li>・第1回福祉部会議事録</li> <li>・第1回広報委員会議事録</li> <li>・辻堂駅 駅前掲示板作業分担スケジュール</li> <li>・辻堂朝市 担当割</li> <li>・メールアドレス登録のお願い</li> <li>・令和4年度辻堂まちづくり会議の部会・委員会について</li> <li>・辻堂まちづくり会議だより vol.12</li> </ul>		
傍聴者	1人		

## 【議事録】

(進行 中丸主幹)

### ○開会前確認

- (1) 会議の成立に関する報告
- (2) 資料の確認
- (3) 会議進行の確認
- (4) 傍聴の取扱いについて

(進行 尾崎会長)

### 第一部

#### 1 歩行者横断点滅機「ぴかっとわたるくん」の設置について

- ・市道路維持課から説明を行った。

藤沢市では、信号機のない横断歩道の安全対策として、ソフトハードの両面からさまざまな対策を行っているが、ドライバーが歩行者を認識できない等の理由から接触事故が起こってしまっている。そこで、一時停止率の向上と道路横断時の交通事故抑止を図る目的に、歩行者横断点滅機を試験的に設置する。

### 【質疑応答】

- ・試験的導入を行う期間はどのくらいを考えているのか。(芳山委員)

→設置期間は未定。全国的には約8割のドライバーが一時停止しないなか、事前調査において約6割のドライバーが一時停止しており、高い割合であった。今後この割合がどれくらい高まるか検証したのち、藤沢市内での認知度を高め、展開していきたいと考えている。(市道路維持課)

- ・一時停止をするよう、ドライバーに対しどのようにPRを行うのか。また、黄色のライトは日中に視認することができるのか。(池本委員)

→設置する点滅機は規制をとまなうものではないが、そもそも停止線のある横断歩道では歩行者を認識したら止まらなければならない、歩行者横断妨害という違反になってしまう。設置する歩行者横断点滅機の手前には注意喚起を促す看板を設置し、周知を行う。ライトにはLED灯を使用するため、日中でも夜間でもよく認識できると考える。(市道路維持課)

- ・この機械は、どのくらい点滅するのか。また、次に点滅するまでどのくらいの時間を要するのか。(秋山委員)

→1度押すと30秒間点滅し、点滅終了後に再度ボタンを押すと、またすぐに点滅する。(市道路維持課)

- ・アイデアの1つとして、ETCと連動させることでETCから一時停止を促すメッセージを流すことはできないか。(吉田秀委員)

→交通安全対策にはさまざまな方法が検討されており、GPSと連動した速度制限や、トヨタ車ではサスペンションからデータ化された悪路のビックデータを道路補修に活用する試みなどがある。すばらしいアイデアなので、参考にさせていただく。(市道路維持課)

- ・不安要素などはあるか。(尾崎会長)
- 愛知県豊田市へ視察した際に感じたのは、当初は不安もあっただろうが、当たり前のように使用されていたということ。以前からある黄旗信号をデジタル化しただけと捉えていただきたい。(市道路維持課)
- ・一番肝心なのは、使用する子どもや大人、そしてドライバーがきちんと理解すること。そのためにもアピールをしっかりと行ってもらいたい。(千葉委員)
- こうした会議での説明に加え、学校関係者への事前説明も行っており、学校との共通認識として児童への指導や交通安全教室の実施が必要だと考えている。あわせて、設置後しばらくは道路維持課職員が常駐して利用者への説明を行っていく。(市道路維持課)
- ・点滅していなければ横断歩道に人がいたとしても止まらなくてよいという考えにドライバーがなってしまうのか。設置後の調査では、単に点滅した際に止まるか止まらないかだけではなく、そういった観点からもしっかりと確認してもらいたい。(山田委員)
- ・道路に設置する標識等において、民間が設置することはできるのか。例えばPTA会費を集めて設置するなど、当初は試験的に行政が費用を負担して設置するが、それ以降は民間が費用を負担して設置するようになるのではないかと心配している。今後設置していくにあたっての基準と費用負担について説明してもらいたい。(小川副会長)
- VTRでは民間が設置したと紹介されていたが、実際には民間が調達した機器を行政である道路管理者へ寄贈したものであり、行政でなければ設置することはできない。藤沢市では寄贈は考えておらず、市の予算で設置していくことを考えている。(市道路維持課)
- ・利用者等へのPRにあたっては、タウン誌等の機関紙を利用すべきと考える。(池本委員)
- 設置の前段として神奈川県警に相談した際にも知名度不足との指摘を受けていることから、委員ご意見のとおり、ホームページ、タウンニュース等さまざまな方法を活用し、周知を行っていく。(市道路維持課)

## 第二部

### 1 前回会議議事録の確認について

- ・資料のとおり

### 2 議題

#### (1) 所属部会等について

- ・委員名簿に記載の所属部会について、誤りや変更がないか確認を行った。  
→変更等なし

#### (2) 部会報告からのディスカッション

- ・資料「令和4年度辻堂まちづくり会議の部会・委員会について」を用いて、尾崎会長から各部会の定義や取組内容等について説明を行った。
- ・全体を5班に分け、各部会をテーマに10分ずつディスカッションを行った。

班	構成員
1班	尾崎会長、赤塚委員、和田委員、大橋委員、高野委員、鶴田委員
2班	伊藤副会長、山田委員、吉田(紀)委員、富田委員、千葉委員
3班	小川副会長、片桐委員、松尾委員、池本委員、芳山委員
4班	秋山副会長、橋本委員、鷹野委員、北野委員、吉田(秀)委員
5班	近藤委員、秋葉委員、山下委員、久保田委員、堀川委員、

- ・ディスカッションの結果、思ったこと・やってみたく感じたことなどを付箋に記録した。記録内容の詳細については別紙のとおり。
- ・記録した内容は、部会ごとに集約し、次回開催の部会において利用する。

### (3) 広報委員会からの報告

- ・久保田委員長から令和4年度事業計画について説明を行った。  
子ども回覧板については、辻堂交流部会での検討を依頼した。  
広報委員会は、各部会のように事業を実施していくのではなく、活動を外部にPRしていく場所。ぜひみなさんにご参加いただき、風通しのよい委員会にしていきたい。

### (4) 津波避難体験について

- ・小川副会長から津波避難体験について説明を行った。  
本会議委員から秋葉委員と齋間委員が海浜公園前交差点の誘導に協力する。

## 3 その他

### (1) 駅前掲示板の作業分担について

- ・駅前掲示板の作業については、原則として毎月1日9:30から行う。
- ・各部会の分担は次のとおり。

日にち	担当部会	日にち	担当部会
7月1日(金)	くらし安心・安全部会	12月1日(木)	福祉部会
8月1日(月)	辻堂交流部会	12月28日(水)	くらし安心・安全部会
9月1日(木)	福祉部会	2月1日(水)	辻堂交流部会
10月3日(月)	くらし安心・安全部会	3月1日(水)	福祉部会
11月1日(火)	辻堂交流部会		

(2) 辻堂朝市の作業分担について

- ・辻堂朝市の作業については、毎月第2・第4木曜日7:30から行う。
- ・各部会の分担は次のとおり。

開催月	担当部会	開催月	担当部会
6月	辻堂交流部会	11月	福祉部会
7月	くらし安心・安全部会	12月	辻堂交流部会
8月	福祉部会	1月	くらし安心・安全部会
9月	辻堂交流部会	2月	福祉部会
10月	くらし安心・安全部会	3月	辻堂交流部会

(3) メールアドレス登録のお願い

- ・会議資料を事前に送付するため、メールアドレスを事務局に登録する。
- ・メールアドレスを登録するため、次のとおり事務局へメールを送付する。

送付先 fj-tsuji-c@city.fujisawa.lg.jp

件名 辻堂まちづくり会議メールアドレスの登録

本文 名前

- ・登録したメールアドレスは、事務局と委員個人との連絡時に限り使用する。
- ・来月の全体会議から運用を開始する。
- ・会議資料の印刷は、これまでどおり事務局が行い、当日配付する。

(4) その他

- ・特になし

4 今後の予定

- 辻堂寫真館 6月 3日(金)～
- 辻堂朝市 6月9, 23日(木) 交流部会3人
- くらし安心・安全部会 6月 7日(火) 13時30分から  
(会議後、日時変更)
- 辻堂交流部会 6月 9日(木) 10時00分から
- 広報委員会 6月16日(木) 10時00分から
- 福祉部会 6月16日(木) 13時30分から
- 第3回辻堂まちづくり会議 6月23日(木) 13時30分から
- みんなで美化キャンペーン  
湘南ニコニコロード 7月12日(火) 午後  
ポケットパーク 7月16日(土) 午前

以 上

令和4年度 第2回 くらし安心・安全部会 議事録

(開催日時) 2022年(令和4年)6月7日(火) 13時30分～15時15分

(開催場所) 辻堂市民センター 地区防災拠点本部室

(出席者) 委員: 赤塚委員、山田委員、斎間委員、橋本委員、小川委員、鷹野委員

事務局: 加藤センター長、新倉、二宮

(議題等) 1 意見交換会

(1) 辻堂地区交通問題事業について

・辻堂地区地域公共交通導入について(都市計画課)

・藤沢厚木線(辻堂工区)の整備について(道路河川総務課)

2 部会長の選出

3 今後の事業予定について

(1) 辻堂地区交通問題事業について

・辻堂駅前商店街東側の進入禁止における自転車問題について

(2) 辻堂まちづくり会議全体会議の意見を踏まえて

4 その他

1 意見交換会

(1) 辻堂地区交通問題事業について

・辻堂地区地域公共交通導入について(都市計画課)

→都市計画課よりこれまでの進捗状況を含め、辻堂地区地域公共交通導入について説明いただいた。

(意見等)

・路線変更後、土休日に昭和通りを通過して茅ヶ崎方面に行くバスはなくなってしまうのか。

→そうである。

・昭和通り付近の住民は、その旨承知しているのか。

→路線図面を提示し地域住民へ説明しているため、理解されていると認識している。

・藤沢厚木線(辻堂工区)の整備について(道路河川総務課)

→道路河川総務課より藤沢厚木線(辻堂工区)の整備について説明いただいた。

(意見等)

・いつ都市計画決定されたのか。

→都市計画決定されたのは、昭和32年であり、藤沢市全体の都市計画が決まった年になる。また、

その中で計画変更を行っており、最初に計画変更を行ったのは、平成12年。そこから現在の形になっている。

2 部会長の選出

→部会長については、山田委員に決定した。

### 3 今後の事業予定について

#### (1) 辻堂地区交通問題事業について

- ・辻堂駅前商店街東側の進入禁止における自転車問題について

→前年度委員の取り組みとして、辻堂駅前商店街東側の進入禁止における自転車問題については、チラシで周知ののち、注意喚起のためのステッカー貼付作業までを行った。今年度の取り組みについての方向性を確認したい。

#### (意見等)

- ・8月末に竣工後、開通式等を行う場合どこが計画するのか。また、そういった予定はあるのか。  
→事務局で確認する。
- ・まちづくり会議として関わってきたのだから開通時にセレモニーを、同時に自転車のキャンペーンを行ったらどうか。
- ・節目として何かしらはやりたい。
- ・のぼり旗でいつから開通するのか知らせる方法がどうか。
- ・いつ竣工し、いつから開通なのかはっきりした日時等を知りたい。  
→事務局で確認する。

#### (2) 辻堂まちづくり会議全体会議の意見を踏まえて

→全体会議の意見交換会で他の委員からの意見をもとに、今後どのように取り組んでいくのか検討を行った。

#### (意見等)

- ・意見結果を見ると、防災、交通安全が多くメインとなるのがよくわかる。
- ・子どもの見守りはどういったものなのか。  
→昨年度は居場所づくりを検討していたが、地域には児童クラブや子どもの家などがあるため専門的な場所に任せることとなった。そのため、今年度新たに検討していくことになっている。

### 4 その他

- 駅前掲示板 7/1 (金) 9:30～ 担当: 赤塚委員・鷹野委員
- 辻堂朝市当番 7/14 (木) 7:30～ 担当: 赤塚委員・小川委員・鷹野委員
- 7/28 (木) 7:30～ 担当: 赤塚委員・斎間委員・鷹野委員

以上

#### 【次回部会日程】

日時: 2022年(令和4年)7月14日(木)  
13時30分～15時

(開催日時) 2022年(令和4年)6月9日(木) 10時~12時30分

(開催場所) 辻堂市民センター 第1談話室

(出席者) 1 委員 …和田委員、片桐委員、吉田(秀)委員、秋山委員、久保田委員、千葉委員、鶴田委員

2 事務局 …山出、片山

(議題等) 1 部会長の選出

2 令和4年度事業内容及び方向性の確認

3 湘南工科大学授業参加協力

4 みんなで美化キャンペーン

5 辻堂さんぽについて

6 子ども回覧板について

7 その他

(議題)

## 1 部会長の選出

第2回辻堂まちづくり会議全体会議にて、部会委員が確定したことに伴い、部会長の選出を実施した。

### (1) 部会長の主な役割を確認

部会の議事進行や全体会議での周知事項説明等に加えて、辻堂交流部会長については関係団体及び関係者との調整を率先して行うことが特に重要な役割であることを共有した。

### (2) 部会長の選出

協議の結果、辻堂まちづくり会議委員として今期が2期目の人が部会長になると、ある程度経験を積んでいてかつ次期続投の場合は引継ぎがしやすいという意見を受けて、部会長は秋山委員に決定した。

### (3) 副部会長の検討

部会長が決まるにあたり、部会長の補佐を行う副部会長について議論がされたが、副部会長のみが部会長を補佐するのではなく、部会委員全員で補佐していくこととなり、選出はしないこととなった。

## 2 令和4年度事業内容及び方向性の確認

部会委員が確定したことに伴い、配布資料「令和4年度辻堂交流部会事業予定表(案)」を再確認し内容を確定した。また、第1回辻堂交流部会及び第2回辻堂まちづくり会議全体会議で出た意見も共有しつつ、新規事業「海にまつわる事業」については追加調査結果もあり、次のとおり決定した。

### (1) 海洋プラスチック問題がテーマの映画上映

- ・案になっている映画は予告編をウェブで見ることができ、内容がよい。
- ・ビーチでの上映会ができる雰囲気が出るのではないかと。その場で海水を汲み、成分調査などができるリアリティが増すと思う。※事前に他海岸の海水を入手して比較できるとなおよい。
- ・上映後の意見交換はよいと思う。また、上映後に関連事業のPRをしたい。
- ・湘南工科大を巻き込んで、構内で上映してもよいのではないかと。

→次回の部会に向けて、芳山委員と事務局でより具体的な企画案を作成することとした。

## (2) 海浜公園のサザン池でサップ体験

- ・ただ子どもたちをサップ体験で楽しませるのではなく、海洋プラスチック問題と関連させて、池に浮かべたプラスチックごみをサップを漕ぎながら拾っていくような内容にしたい。海のレジャーをしながらごみを拾って帰るといった行動に結びついてほしいという意図をもって企画する。サーフショップ等の自発的なごみ拾いの活動を紹介できないか。
- ・サザン池で実施されているユニバーサルカヌーやサップヨガの団体と連携できないか。
- ・海浜公園との共催だと、応募条件がそぐわなくなってしまうので、前例はないということだが今回は海浜公園と共催せずに実施したい。

→次回の部会に向けて、鶴田委員と事務局でより具体的な企画案を作成することとした。

## (3) 漂着物を使ったワークショップ

- ・海洋プラスチック問題と結びつけた内容で開催したい。
- ・子どものごみ拾い団体の発表の場があってもよいのではないか。

→次回の部会に向けて、和田委員と事務局でより具体的な企画案を作成することとした。

## (4) 各企画共通事項

- ・海洋プラスチック問題に取り組むということで、生活環境協議会と共催したい。
- ・子どもたちを主なターゲットとした企画であるので、三者連携と共催したい。

## 3 湘南工科大学授業参加協力

前回の授業参加の様子を共有しつつ、次回6月27日(月)の授業参加について情報共有した。次回の授業参加日を受けて次のとおり意見があった。

- ・6月27日は辻堂地区交通安全対策協議会の会議があり、予定が重複している。授業日はずらせないが、協議会の開催日は調整できるのではないか。

→事務局内で予定を共有し、今後なるべく予定の重複が起こらないよう調整していく。

## 4 みんなで美化キャンペーン

開催日時及び開催準備の進捗状況を共有し、次のとおり意見があった。

- ・チラシ案について、親子参加を呼びかける文言があった方が良いのではないか。親子参加するなら、やはり除草だけではなく花植えの実施や花苗または種の配付があった方が良いのではないか。
- ・花植えについては植えても暑さで枯れてしまうことがあり、例年見送っていたが、マリーゴールドやサルビアといった暑さに強い植物なら可能ではないか。

→花植え等については、共催の生活環境協議会でも議論し、実施可能か検討する。

## 5 辻堂さんぽについて

前年度開催内容を確認しつつ、開催に至った背景等も共有した。そのうえで次のとおり意見があった。

- ・個人参加型のウォークラリー形式で期間開催をしつつ、期間内にスポット的な団体参加企画をいれてはどうか。
- ・基本ルートでは辻堂まちづくり会議が定めたグリーン回廊の認知度アップを図りたい。
- ・花のきれいな場所、避難場所、史跡等の歴史的な場所、海のまわり（海浜公園内等）といった、テーマごとのルートがあっても良いのではないか。
- ・ルートの設定においては事故等の危険がないか、安全性には十分考慮する必要がある。
- ・景品の受け渡しはくじ引き形式にすることで、前回での反省点が改善できるのではないか。
- ・子ども向けの参加企画を進めるなら、子ども向けの景品も増やしたい。
- ・ルートの地図にはトイレの場所を記載し、参加者に便利になるよう工夫する。
- ・チェックポイントが分かりにくいという指摘があった場所もあるので、草の生え具合等の様子をこまめに確認する必要がある。

→次回の部会に向けて、吉田（秀）委員と久保田委員及び事務局でより具体的な企画案を作成することとした。

## 6 子ども回覧板について

前回実施の内容を踏まえた企画案を用いて検討を行ったが、今年の夏休み期間（8月）を想定すると実施までの期間が短く、準備が十分にできない可能性が高かったため、次回以降の部会で開催内容や方法、開催日等を議論していくこととした。

- ・前回実施では子ども向けのまちづくり会議のイベントとして募集をかけたが、子どもたちが集まらず、公民館の子どもボランティアに協力してもらってなんとか開催できたという状況だった。公民館の子どもボランティアは現在募集していないので、どのように参加者を募るか、考える必要がある。
- ・子どもが参加したいと思える企画として方向性を定めるのか、親が子どもに参加させたいと思える企画とするのか、募集に苦戦することを踏まえて参加者のニーズを企画に反映する必要がある。
- ・夏休みの開催は参加するための時間を確保する意味では有効である。宿題が捗る（自由研究になる等）といった視点があると、参加者が増えるのではないか。
- ・子どもが回覧板を情報源として見ることはあまり多くないように思う。回覧板とするなら、大人（親）が見て子どもに勧められるような内容がよいのではないか。
- ・学校の授業でタブレットを使っていることから、紙の回覧板ではなくデジタルの回覧板とすれば子どもたちが見てくれるのではないか。
- ・他のまちづくり会議の事業に参加してもらい、そのことを記事にするといった企画も可能ではないか。そのときは夏休み期間にこだわらず、実施することができる。

## 7 その他（今後の予定）

辻堂朝市と駅前掲示板の担当者を選出した。

6月23日（木）の辻堂朝市：秋山委員、久保田委員、千葉委員

7月1日（金）の駅前掲示板：和田委員、秋山委員

### 【次回部会日程】

日時：2022年7月7日（木）

10時～11時30分頃

会場：辻堂市民センター 第一談話室

以上

(開催日時) 2022年(令和4年)6月16日(木) 13:30~15:00

(開催場所) 辻堂市民センター 地区防災拠点本部室

(出席者) 近藤委員、伊藤委員、松尾委員、富田委員、高野委員、北野委員、  
山下委員、池本委員

(事務局) 辻堂市民センター 加藤、守谷  
地域共生社会推進室 宮治、佐藤

(議題等) 1. 部会長の選任について  
2. 福祉部会の今後の取組について  
3. その他

〈議題〉

1. 部会長の選任について

→池本委員の推薦があり、拍手多数で決定した。

2. 福祉部会の今後の取組について

→資料に基づき昨年度・前回部会までの振り返りを行ったうえで、各委員から意見・提案を行った。

【意見等】

- ・昨年実施した「絵ほん語り公演」について、セクシャルマイノリティに関する内容の公演を行いたい。LGBTQや、多様性への理解、尊重を深めることができるような活動。
- ・まちづくり会議は、地域のみなさんが楽しいと思えるような街になるように活動していく団体だと思っている。何か新しい取組を行う際に、その内容に対してまずは自分たちが知識を得るよう研修などを行う必要があると思う。また、関係する団体にも声をかけ、一緒に取組むべきであると考えている。
- ・昨年度までの取組で、積みあげてきたものを継続して行いながら、任期2年を意識した取組を行うべきであると思う。
- ・昨年度までの取組を振り返ると、全体的に当事者の方々へのアプローチが中心となっている。全体会の意見の中にもあったが、地域の方々に対しての発信も行うべきであると思う。福祉部会として今後、当事者への取組を積極的に行っていくのか、地域の方々へ対しての啓発などを中心として行っていくのか、まずは福祉部会が現状どの段階にあるのか認識を持ったうえで、どこまで行うのか方向性を考える必要がある。
- ・障がいや高齢に関して、知らないことで課題となる場合がある。広く地域の皆さんに知っていただくきっかけ作りとして、様々な場面で情報発信できたらと思っている。
- ・座談会などの開催によって、認知症や障がいの当事者の声を聞くきっかけがあればぜひ話を聞きたいと思う。当事者の方々もコロナ禍で話す場がなくなっているため、他の人と共有し、発散する場が必要とされていると思う。

- ・市民センターでは一人暮らし高齢者のために「お楽しみ昼食会」を行っているが、同じような形式で子ども食堂へ繋がるような取組ができないか。
- ・2年の任期の中で、私たち委員も地域の方々と一緒に勉強しながら事業を行っていかれたらと思う。今後、具体的にどんなことを行っていくのか熟考しながらも、スピード感をもって進めていきたい。
- ・決定している事業については今後スケジュール等詳細を決めていくことになる。加えて、新しいメンバーになり新たな事業も検討することになるが、決定事項と並行して進めていかなければ時間が勿体ないと思う。昨年まで障がい軸を置き活動してきたが、障がいやセクシャルマイノリティに限らず、人と違うことに対して生きづらさを抱えている人が多数いると思われる。そういったことに対して、様々な方向から啓発を行っていくのはとても良いと思う。
- ・当事者と地域の方々へ対してのアプローチについては、同時に行っていくべきであると考え。
  - ・昨年、リノアの方との意見交換の際には、大変参考になる意見が多く見受けられた。今回の新しいメンバーでもその内容を共有しながら、方向性を定めていくことが大切だと考える。
  - ・リノア意見交換の中で、ケアラーの支援についての話が出ていた。障がい者の家族、きょうだいへのアプローチが何かできないかと考えている。また、善行にある障がいの日中自立支援の団体が、活動の様子を映画化している。鶴沼海岸のシネコヤで上映していて、いつも満席であることが多い。辻堂地区でも、上映会ができればひとつの取組になると思う。
- ・いじめや引きこもりは、社会の輪の中にいられなくなってしまうというのが本質にあるのではないかと思う。自分とは違う人と仲良くしようということではなく、みんな同じ連続性の中に立っているという価値観を共有していくことが大切であると思う。障がいを理解する、というよりはみんなが住みやすいように、という考えが大切。
- ・今後の取組について、すでに決まっていること、これから検討していくことに分けて考えるべきである。すでに決まっていることについては、スケジュールを確認したうえで、決定すべきことは早急に対応する。これから検討していくことについては、今後研修を交えながら取組む。
  - 次回部会でスケジュール等の確認を行う。
- ・前回部会で話があった公民館まつりの出店について、障がい者の方が出展できる場所は確保できるのか。
  - まちづくり会議のブースが体育室に設けられる予定だが、それと別に机2つ分のスペースを確保できるよう公民館と調整中。
- ・障がい者の防災訓練について、既存の訓練に参加するのか、単体で行うのか、これから検討していきたい。また障がい者の方の声を収集し、実際の避難施設運営に反映させていくことができればと思う。

### 3. その他

- ・今年度も実施予定の白浜養護学校の展示・即売会について、今回から社会福祉協議会も協働で行うこととなった。
- ・今月の全体会議について、報告は部会長が行うのか？
  - 今回は部会長がまとめて行う。

- ・広報委員会から、公民館まつりの担当を各部会から2名選出するよう依頼があった。  
→池本委員、松尾委員が担当することとなった。

以上

次回部会：2022年7月14日（木）13時30分～

## 令和4年度第2回福祉部会 今年度の取組にむけて

### 1 これまでの取組と主な意見

#### (1) 認知症について

- ・令和4年2月に「認知症フレンドリー講座」を実施。
- 認知症の症状や当事者の声、実際の事例等を踏まえ、正しい理解を深めることができた。
- 認知症フレンドリー講座を受け当事者の気持ちを知り、そのうえで認知症サポーター養成講座を受けることで、より理解が深まるのではないかと。
- 今年度、子ども向けの講座を検討。

#### (2) 障がいについて

- ・令和3年8月・10月に「遊びリパーク・リノア施設見学&意見交換会」を実施。
- 障がい児者のニーズをさらに把握する必要がある。
- 障がい児者をもつ保護者の思いを吐き出す場が求められている。  
⇒座談会の開催・アンケート調査の実施検討、特別支援学級との連携
- ・令和3年12月に「白浜養護学校作品展示・即売会」を実施。
- 今年度についても10月・2月に開催予定。
- ・令和4年2月に「障がい者保護者の方との意見交換会」を実施。
- 高齢福祉と、障がい福祉の共生が必要とされている。
- 障がい者が、市民センターと関りをもつきっかけづくりが求められている。
- 防災訓練に、個人単位だけでなく障がい者施設が参加するべき。

#### (3) そのほかの取組・意見

- 公民館まつりを活用した福祉に関するイベントの実施
- 世代間交流事業への参加
- 昨年実施した「絵ほん語り公演」の他演目開催
- 地域ボランティアの促進 など

## 2 全体会議グループワークで出たアイデア・意見

### (1) 新規事業アイデア

- ・働く母には保育園のサポートがあるが、小学生になるとそのサポートが薄くなると思う。子育ての助けになるような活動が必要。
- ・自然な交流、ふれあいの場づくり。
- ・地域に出るチャンスを作る。(公民館まつりへの出展など)
- ・オンライン授業の実施。家にいても、不登校でも OK! オンラインを活用し、それぞれの生き方を認める。
- ・キッズ向けの認知症フレンドリー講座を行いたい。
- ・民生委員さんや児童委員さんの周知も兼ねた事業。
- ・参加型・体験型の事業。
- ・ケアラーケア(家族への支援)を行う。
- ・交流の視点も取り入れた、出前縁側事業。

### (2) 福祉部会の活動に対する意見

- ・福祉部会は市内でも2カ所だけなので、先行優績事例となる活動をしてもらいたい。
- ・地域の人々の福祉ニーズをどう拾い上げていくか、地域の人に届けやすい活動を!
- ・社協や他の協議会と共同作業が必要。
- ・放っておいてくれ、おせっかい、と思われることをやっていく。頭を柔らかく、両立していく。
- ・福祉部会と老人会の関わりは重要。ボランティアセンターと老人会の関わりが必要。

以上

日時	2022年6月16日(木) 10:00 ~ 11:55
場所	辻堂市民センター 地区拠点本部室
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 久保田委員長 <input checked="" type="checkbox"/> 尾崎会長 <input checked="" type="checkbox"/> 小川副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 伊藤副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 秋山副会長
事務局	<input checked="" type="checkbox"/> 中丸主幹 <input checked="" type="checkbox"/> 山出 <input checked="" type="checkbox"/> 若山 <input checked="" type="checkbox"/> 宮木
議題等	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題 (1) 辻堂公民館まつりへの出展について (2) オンラインc a f e 高砂小学校 ムーンショット事業 4 その他 5 閉会
資料	・平成30年度辻堂公民館まつり出展事業詳細 ・令和元年度辻堂公民館まつり展示レイアウト

## 【議事録】

## 1 開会

## 2 委員長あいさつ

久保田委員長があいさつを行った。

## 3 議題

## (1) 辻堂公民館まつりへの出展について

- ・公民館まつりへの出展に向けたスケジュールは次のとおり。

時期	内容
～8月末	出展内容の決定
9～10月中旬	展示物等の制作
10月26日(水), 27日(木)	体育室へ展示

- ・各部会から「公民館まつり担当」を2人ずつ選出してもらい、会議を2回程度開催するなかで詳細を決める。

広報委員会からは、久保田委員長と尾崎会長を選出する。

## (2) オンラインc a f e

高砂小学校 ムーンショット事業

- ・7月14日(木) 10:45～11:30(3限)に実施する。
- ・対象クラスは、6年生2クラス、5年生3クラス、4年生3クラス 計8クラス

- ・広報委員会委員5人は参加できる。  
学校との調整結果によって全体会議で委員の参加を募る。

#### 4 その他

##### (1) 防災に対する取組について

- ・尾崎会長から、広報委員会に限らず皆で防災について考えていきたい旨の発言があった。

##### (2) 駅前掲示板の作業分担について

- ・各部会で当番を決定できたので、7月からは当番に従って分担を行う。

##### (3) 駅前掲示板の飾りつけリニューアルについて

- ・久保田委員長が企画書を作成し、改めて議論する。

##### (4) Facebook について

- ・もっと多くの人に読んでもらえるページにしたい。

##### (5) LINE グループでの連絡について

- ・大事な内容はノートに保存する。

#### 5 閉会

##### 【今後の予定】

- 6月全体会議           6月23日（木）13：30～／ホール
- 次回委員会           7月14日（木）9：00～10：00／第1談話室

以 上

“みんなが美化キャンペーン事業”  
に参加しませんか？

# ポケットパーク

の除草をします！

## 辻堂を“きれい”で“住みよい”まちに！

辻堂まちづくり会議は、「住みよい辻堂（まち）づくり」、「安心して暮らせる辻堂（まち）」を目指して活動を行っています。

平成27年度からは地域の方々と力を合わせ、「辻堂のまちをきれいにする」活動に取り組んでいます。“きれい”なまちは、“住みよい”ばかりでなく、**みんなの目が注がれる“安心して暮らせる”**まちです。

そこで、次のとおり環境美化活動を行いますので、お近くにお住まいの自治会・町内会の皆様も、是非ご一緒にご参加ください!!!

日 時：7月16日（土）9時～10時頃

※ 雨天の場合は中止

集 合：8時50分

場 所：ポケットパーク

◇◇◇ ご参加にあたって◇◇◇

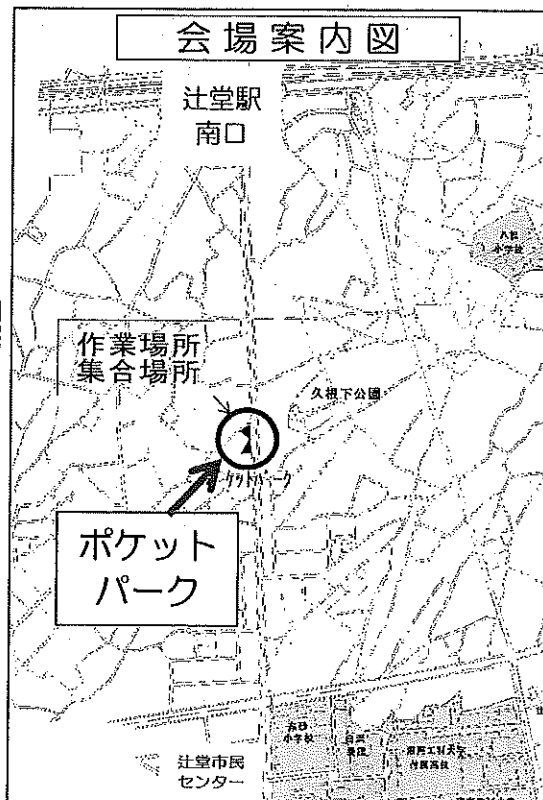
- ・作業しやすい服装でご参加ください。
- ・除草用具については、事務局でも用意しますが、お持ちの方はご持参ください。
- ・水分補給は各自でお願いします。
- ・雨天の場合は中止しますが、判断が難しい場合は、当日の8時30分以降に事務局までお問い合わせください。

【主 催】

辻堂まちづくり会議／辻堂地区生活環境協議会  
高浜地域子ども支援会議

【事務局】

辻堂市民センター 電話34-8661



# ムーンショット型研究開発制度の概要

令和4年2月

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局

未来革新研究推進担当

# ムーンショット型研究開発制度の概要及び目標について

## 制度概要

超高齢化社会や地球温暖化問題など重要な社会課題に対し、人々を魅了する野心的な目標（ムーンショット目標）を国が設定し、挑戦的な研究を推進する制度。

## 目標

「Human Well-being」（人々の幸福）を目指し、その基盤となる社会・環境・経済の諸課題を解決すべく、9つのムーンショット目標を決定（総合科学技術・イノベーション会議決定（目標1～6：令和2年1月23日、目標8, 9：令和3年9月28日）、健康・医療戦略推進本部決定（目標7：令和2年7月14日））

## 目標設定に向けた3つの領域

（人々の幸福で豊かな暮らしの基盤となる「社会・環境・経済」の領域）

### 社会

急進的イノベーション

少子高齢化時代を切り拓く

<課題>

少子高齢化、労働人口減少、人生百年時代、一億総活躍社会等

### 環境

地球環境を回復させながら

都市文明を発展させる

<課題>

地球温暖化、海洋プラスチック問題、資源の枯渇、環境保全と食料生産の両立等

### 経済

サイエンスとテクノロジーで

フロントアリアを開拓する

<課題>

Society 5.0実現のための計算需要増大、人型の活動領域拡大等

## 長期的に達成すべき9つの目標

目標 1	2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現
目標 2	2050年までに、超早期に疾患の予測・予防をすることができる社会を実現
目標 3	2050年までに、AIとロボットの共進化により、自ら学習・行動し人と共生するロボットを実現
目標 4	2050年までに、地球環境再生に向けた持続可能な資源循環を実現
目標 5	2050年までに、未利用の生物機能等のフル活用により、地球規模でムリ・ムダのない持続的な食料供給産業を創出
目標 6	2050年までに、経済・産業・安全保障を飛躍的に発展させる誤り耐性型汎用量子コンピュータを実現
目標 7	2040年までに、主要な疾患を予防・克服し100歳まで健康不安なく人生を楽しむためのサステイナブルな医療・介護システムを実現
目標 8	2050年までに、激甚化しつつある台風や豪雨を制御し極端風水害の脅威から解放された安全安心な社会を実現
目標 9	2050年までに、こころの安らぎや活力を増大することで、精神的に豊かで躍動的な社会を実現

“Moonshot for Human Well-being”

（人々の幸福に向けたムーンショット型研究開発）

